

2023年度 信濃キリスト教学園大町幼稚園 学校自己評価結果（学校関係者評価シート）

A（十分達成できた 4点） B（おおむね達成できた 3点） C（どちらかといえば課題がある 2点） D（課題がある 1点）

項目	重点目標（取り組み）		平均	取組状況・成果・課題	分析・改善案	学校関係者評価	
1	教育方針・教育目標の理解	教師自身、教育方針（いつくしみの保育）と教育目標（元気な体・優しい心・考える力）の理解を深め、保育内容に活かす。	教師	3.3	<ul style="list-style-type: none"> 年度始めや行事のたびに子どもたちの姿や目指す保育願いを他の教師と話し合い、同じ目標に向けて準備できた。 子どもたちが、教育目標の元で成長していけるように保育した。優しい心と考える力は子どもたちと一緒に考える時間を作ることができた。 元気な体⇒毎日の運動と散歩を意識的に行った優しい心⇒ちくちく言葉ふわふわ言葉、こんなときどうする？と相手に寄り添う姿勢を伝えてきた。 考える力⇒一緒に考える時間を大切にしたい 	年間計画の”O”のついた礼拝は、保護者参加型の礼拝です。体験を通して感じていただけると幸いです。	4
			保護者	3.6	<ul style="list-style-type: none"> おしつけることなく優しく教えていただきよく知ることができました。 色々な行事を通して、子どもたちと一緒にキリスト教の教育を感じることができた。 知識が少ない為ですが、最初に礼拝等の説明が詳しくあると嬉しいです。 		
項目	重点目標（取り組み）		平均	取組状況・成果・課題	分析・改善案	学校関係者評価	
2	キリスト教保育	教師自身見えないものに目を注ぎ、「あたたかなまなざし」で子どもを受け入れるキリスト教保育の学びを深める。	教師	3.4	<ul style="list-style-type: none"> 南部先生のお話しが自分のレベルではすべての内容を理解することが難しく、逆に一部分心に留まることがありそこから保育に向かう姿勢を考えられた。 あたたかなまなざしを子どもに向けることは日々大切にしているが、日々の業務に追われてキ保誌に目を向ける時間が取れない。来年度は読む時間を取りたい。 これからもそのまなざしに愛情や思いやりなど温かい気持ちを込めて子どもと接したい あたたかなまなざしで受けとめる心がキリスト教保育の基本と考えるが、多様な保護者に添い遂げる一本の骨格が必要と考える。「同情」でなく、「受け入れなくてはいけない」ではなく大切なことを聖書から学び向き合える幅を広げたい 子どもから見えない部分の成長や変化を多く感じる一年だった。 	大町幼稚園は信濃部会に属しキリスト教保育を学んでいます。主体的に活動できるようお子さんと向き合い保護者のお気持ちに添い遂げることができるよう学びを深めています。13時降園のご協力をお願いいたします。	3
			教師	3.3	<ul style="list-style-type: none"> 未満児のため、毎日の礼拝というより行事のたびにキリスト教や神さまについて話すことで、基礎とまではいかないが、来年につながる種をまくことができたと思う。 子どもたちの、「神さまはいるから」発言を聞くたびにキ保らしさを感じる。 クリスマス会では他のクラスと交流を楽しみながら行事に向かっていくことができ、異年齢の関わりの中で人間関係の基礎を築けたと思う。 まずは自分がみんなに愛されている事を常に伝え続けたい 礼拝は毎日絵本を読み進めながら分かりやすく伝え、身近な生活に結び付けて伝え「どう思う？」と参加型にすることで子どもたちも集中し楽しみにしていた。 		
項目	重点目標（取り組み）		平均	取組状況・成果・課題	分析・改善案	学校関係者評価	

3	少人数保育	教師相互間の連携を密にし、協力体制を築きチーム保育をする。	教師	3.7	<ul style="list-style-type: none"> ・お互いに意見を伝え合うことで、子どもひとりひとりの成長に気づき保育することができたと思う。 ・お母さん方の不安なことを保育者間で共有し一緒に考える時間が持てた。 ・インフル・コロナで教職員が交互に休む中でも日々の保育が出来たことは職員間の協力があつたからと考える。 ・初めての二人担任でははじめは戸惑ったが、あらたなまなざしで保育することができた。 ・常に話すこと（報告・連絡・相談）を心掛けチーム保育ができたと思います。パートナーの先生に感謝。 ・子どもの些細な情報も気づき報告し合い、どちらかが休んでも安心してクラスを回せるほど密に連携できた。クラスの中の園児への対応を役割として、ピシッと頑張る担任・やさしく見守る副担・しんどいときの休みの加配で対応できた。 ・園内報告や事前相談等チームでの保育が形成されてきていると感じる 		3 他者を受け入れるということは弱い私たち人間にとってはとても難しいものです。 イエス様の子どもたちに対する姿勢に少しでも近づきたいものです。
		あたたかなまなざしの保育を通して、子どもたちは、安心感を抱き、愛されていると感じている。	教師	3.4	<ul style="list-style-type: none"> ・たくさんの失敗や経験をしながらも、お互いを認め合い大切な存在であることを伝えた。 ・保育者それぞれの視点で見守る姿、そこに愛に溢れる保育を感じます。 ・小さき者について上から発信をしがちだが、夏のキ保の研修会での小見先生のお話を聞き子どもの人権を考えながら子どもに向き合いたいと思う。 ・様々な個性のある子どもたちがいる中で、3人の先生の多様な視点で子どもと向き合うことができました。 ・行事前は私が頑張っしてほしいと思う気持ちが強く子どもに負担をかけてしまったと感じる（特に休みの多い園児） ・愛されるという面では毎日のように「お休みの ○○ 君早く良くなってね」と心配したり、クラスのみんなが揃うと飛び跳ねて喜んでる姿に愛を感じた。 		
		幼稚園は教師との信頼関係を通して安心して生活できる環境作りをしていますか？	保護者	3.7	<ul style="list-style-type: none"> ・登下校の際に入口に立っていただきありがとうございます。 ・取れないおむつを担当の先生に「大丈夫ですよ」と受け入れていただきすぐ取れてありがたかった。 ・親的には昼寝してほしいのに子どもが苦手な為担任に助けてもらい助かった。 ・一つ一つの行事に向けて一生懸命に取り組み、子どもたちがやり遂げたあと、全力で先生も褒めてくださり、胸が熱くなりました。一年を通してすごく成長したなと感じています。安心して小学校へ進むことができます。 ・子どものことを一番考えてくれる先生ばかりで安心して預けられました。四年間の担任副担任の先生方は本当に素敵な先生ばかりで子どもの接し方も勉強になりました。 ・先生方やクラスの友だち、又学年を超えて関わりを持つことができ、心も体も成長できていると感じています。個々の良いところを見つけ引き出していただきのおかげで下さる教育に感謝いたします。 ・毎日幼稚園に通う大切さもわかりますが、子どもの気持ちを尊重し対応したいと考えています。理解していただけると、子どもも楽しく通えると思います。 ・たまに「先生がこわいから行きたくない。」と言いますが、おおむね楽しく通わせていただきました。 ・一部の先生の厳しい対応に、子どもが行きたがらない時期があり、残念でした。幼稚園児には不適切な声かけが多かったです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・キリスト教保育の研修や私立幼稚園協会の研修、又、園内研修を通して、日々の保育の振り返りを教職員で共有し、子ども主体の教育時間の提供と保護者に添い遂げることのできる自己教育を続けてまいります。 ・心配な点をすぐ相談して頂いたことで、お子さんが苦しい思いにならない様対応することができました。ありがと 	

						うございました。 次年度はこのようなことの無いよう共に学んで参ります。	
	項目	重点目標（取り組み）		平均	取組状況・成果・課題	分析・改善案	学校関係者評価
4	戸外遊びの充実	戸外で友だちと思いきり身体を動かして遊ぶことを通して 元気で丈夫な体作り をする。	教師	3.1	<ul style="list-style-type: none"> ・グラウンドだけではなく園外に出てたくさん体を動かすことができたと思う。 ・積極的に外に出ることができました。散歩にも挑戦することができました。 ・戸外遊びの時間を意識した ・自ら遊びを見いだせない子どものために引き出しを増やした ・ここ数年、子どもの粗大運動能力がゆっくり発達していると感じる。「遊びの大切さ」とともに「体の成長」を大切に作る園でありたいと思う。体操教室の青木先生に助けていただきたいと思う 	<p>・2024 年度の体操参観では青木先生から体の話を聞くことができます。 お楽しみに!!</p> <p>・園児の体力・腕力・バランス等に心配のある時期は遊びの範囲を指定することがあります。又、防寒長靴で鉄棒・登り棒・大型遊具で遊ぶ時や、厚手の手袋でブランコをするときなど季節によって声掛けが変わります。それ以外は基本的に自由に遊んでいます。気になる点がありましたらその都度担任に声掛けください。共有してまいります。</p> <p>・近年体の発達がゆっくりな園児さんが目立ち、縄跳びに至るまでに時間がかかっています。体操の先生に相談し、体験を重ねていけるよう意識して過ごしたいと考えています。</p>	4
		保護者	3.9	<ul style="list-style-type: none"> ・お散歩することは良いことだと思います。雨の中散歩をする体験ができてよかった。 ・天気の良い日は外遊びやお散歩をさせていただき、体力が付きました。家ではできない体験なのでありがたいです。 ・就学に向けて、歩く練習も増やしてくれてありがたいです。 ・家では体験できない体験を園での制作物や園外保育の動物との触れ合い、季節を感じられ子どもが楽しそうでした。 <p>・「今日はこの遊具では遊ばないよ」と言われる先生がいて気になった。遊びに規制が入る事は子どもは悲しい。「三角屋根は年長から遊べる」というのも危ないからできないではなく、本人がチャレンジする機会を大切にほしい。</p> <p>・他園より縄跳びの練習が進まず、小学校でもやるので心配でした。</p>			
		楽しく充実した遊びを通して、一人ひとりの園児が 主体的に活動し、創造力を養い、自分で判断したり、行動したり することができるように育てる。	教師	3.4	<ul style="list-style-type: none"> ・今の子どもにとって、「楽しく充実した遊び」とは何なのか考える。保育者が提供しないと遊べない子が増えてきていると思う。その中で主体的に活動するところまでの働きかけすら難しさを感じる。今の時代、一年と言わず卒園までの間に育てたい姿と考える。 ・一人の園児の製作物から「自分も作りたい」と活動が広がっていく時間を過ごすことができた。 ・子どもの仲介をしながら遊びの中で子ども同士の関わりが増えていくように働きかけた ・子どもの楽しんでいるものをキャッチして遊びを広げるための観察力をもっと伸ばしたい ・1人1人の遊びを通して、次に遊びたいであろう遊びを予測し手作りして環境を整えた 		

	項目	重点目標（取り組み）		平均	取組状況・成果・課題	分析・改善案	学校関係者評価
5	表現遊び	A 感じたことや考えたことを表現する豊かな感性をはぐくむ。	教師	3.3	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの姿を認め、安心して表現できる場所を目指した。 ・表現することが好きな子が多く発表に繋げることができたと感じる。 ・行事もそうだが日々の生活の中でもダンスや歌をたくさん楽しめた。 ・未満なので分かりやすい言葉、子どもが伝えたい気持ちを理解努力した。 ・特に思い出会の劇では「どんな気持ちかな？」と子どもと考え表現を豊かにした 		4 子どもの個性に応じて、多様な表現力を身につけているように感じます。
		B 歌やリズム表現・製作活動などを通して、自分らしくのびのびと表現したり、友だちと合わせたりする喜びを味わえる環境作りをする。	教師	3.3	<ul style="list-style-type: none"> ・まだ個の強い年齢だが、一緒にやりたいという気持ちは芽生えていると感じている ・リトミック教室で様々な取り組みができる上、子どもたち自身ととても楽しんでいるように感じた。保育に繋げることができた。 ・それぞれのペースで楽しめる方法で表現遊びができたと思う。子どもが楽しいと感じている物を考えてできたと思う。 ・歌は歌うだけでなく振り付けを付けたり手話にしたり替え歌にしたり楽しく歌うことができた。 ・制作は個人差があり、みんなが同じものを作る物は難しく、仕上げは好きな材料で作れるよう配慮にした。 		
			保護者	3.9	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園らしい製作活動から成長を感じることができ嬉しく思います。 ・自由に工作する時間や思い出会では子どもたちのやりたいことをさせていただき子どもたちの生き生きした姿を見ることができ良かったです。 ・リトミックは好きな様子でした。工作はプラスチックではなく自然物だとよい。 ・歌も製作も好きなようにできて想像力が広がって楽しそうでした。 ・家では時間がなく工作はできなかつたので、園の製作で成長を感じることができた。 ・発表会や運動会の衣装がいつも凝っていてかわいいなと思っています。 ・「思い出会」の劇では個性やオリジナルなセリフを取り入れ、「思いやり」の気持ちが大切に描かれているクラスが多く大町幼稚園で良かったと思いました。 		
	項目	重点目標（取り組み）		平均	取組状況・成果・課題	分析・改善案	学校関係者評価
6	安全教育	避難訓練、交通安全指導、健康安全指導、生活安全指導を通して安全に対する意識を高める。	教師	3.4	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の訓練のおかげで大切なことが身に付いてきていると思う ・散歩の途中で安全面に気を付けて行うことができた ・保育者間で危険な箇所を共有できた。 ・月一回の避難訓練を大切な時間と考え子どもの安全や命を守る行動を考えた。 ・実際に起こった災害についても、子どもたちと「自分の命を守る事」、「災害に合わせた人々を思って祈る事」などの意識を高める働きかけをした。 ・普通救命講習を幼稚園全体で研修した。改めて子どもの怪我に対する的確な処置を意識し対応の確認をしたい。 ・近年、園児の体の成長に関し個人差が激しく、保護者と状況を共有できれば「園児が心地よいだろう」場面が幾度かあったが、うまく伝えられなかった。保護者に添い遂げる声掛けを学びたい。 ・今年度より保健だよりをスタートする。感染症の感染の体験が無い家庭も多く、丁寧に伝えた。次年度は睡眠時間の大切さを伝えていきたい。 又、ゲーム・ユーチューブなどの心配をしている保護者もいたので長期的に向き合っていきたい 	<ul style="list-style-type: none"> ・2024年春の総会では睡眠についてお話をさせていただきました。この一年共に考えていきたいと思っています。よ 	3 自分の身の安全だけでなく周りのお友だちの安全もとっさに守れるようになってほしいものです。

			保護者	3.9	<ul style="list-style-type: none"> ・元日に地震があったとき、とっさに机の下に入って丸まっており避難訓練のおかげと思いました。 ・避難訓練も月一回あり、とても大事だと思う。就学に向けて登下校時の不審者対策も教えてくださり助かっています。 ・今年度父母の会の安全指導がしっかりされていなかったようなので、やるなら、あいさつと指導をしてほしい。 	<p>ろしく願います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2024年春の父母の会総会の際に具体的な指導ルールをお伝えさせていただきます。 		
7	食育	A 食事のマナーを通して、左右の優位性・指先の発達・姿勢の保持など、体の健全育成を図る。	教師	3.2	<ul style="list-style-type: none"> ・未満児なので楽しく食べてほしいという願いから今年度は最低限度のルールとした。又、マナーについては家庭とも連携していきたい ・年少というところもあり、まだ難しい点もあったが、意識の種は蒔けたと思う。 ・給食の先生の研修報告の中に「給食は訓練ではない」という話があり、はしの使い方も遊びの中でできることと説明を受け改めて考え直した。 ・それぞれに必要なフォローはその都度できたと思う。 	<p>4</p> <p>美味しく健康的でバランスの良い給食だと感じます。</p>		
		B 栄養のバランスやカロリーを計算した自園給食を通して、何でも喜んで食べる子どもを育てていると思いますか。	保護者	3.9	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年より食べられるもの・量が増えました。おいしい給食をありがとうございます。 ・家では食べられないものも、給食だと食べられるようで給食の話をしてくれました。 ・物価高騰の中、それでもなおお産地産に尽力するなど影の努力をされていて、国産でもいいのではないかと思います。ホームページの写真も多く、配慮、様子がよく分かる。 ・子どもは給食が大好きでした。給食参観も復活すると良い。 <p>・給食時に毎日同じ席ではなく、好きなお友だちと食べられる日があったり、テーブルの配置を変えたり、先生が順番と一緒に入ったり、子どもが楽しめるように今後も対応してほしい。</p>			<ul style="list-style-type: none"> ・昨年の学校評価でご意見をいただいた試食を実施いたします。お楽しみに!! ・席は環境設定の大切な一つです。対応できない事もありますのでご了承下さい。 疑問などその都度ノートでご相談ください。個別に検討相談していきます。
		C 感謝する心・畑での栽培や収穫や調理員との関わりを通して、食に対する関心を持ち、感謝する心を育てていると思いますか。	教師	3.3	<ul style="list-style-type: none"> ・実際収穫し、どのように育ち食べられるようになったか体験できた。初めて食べるものにもチャレンジできた姿が何度も見られた。 ・収穫からクッキングと食育を感じられる良い体験ができた。 ・クラスで野菜を作り、クッキングも行えた。 ・食前の祈りでは給食の先生と食べ物への感謝の気持ちを日々伝えてきた。 ・今年度も畑で沢山野菜を育て給食の先生とも相談して楽しく味わうことができた。 			
			保護者	3.9	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちで育てたことで野菜も「○○食べたい」とリクエストしてくれるようになりました。 ・もう少し畑の時間があると嬉しいです。(土にふれる時間) 			<p>畑の活用も検討してまいります。</p>
項目	重点目標（取り組み）		平均	取組状況・成果・課題	分析・改善案	学校関係者評価		

8	家庭との連携	<p>クラスや子どもの様子、自分の考え方、保育のポイントなどをクラスだよりや電話等で知らせ理解を得る。</p>	教師	3.7	<ul style="list-style-type: none"> ・カラー写真のおたよりにすることで、保護者の方にも子どもたちの姿が伝わりやすくなったと感じる ・お便りでドキュメンテーションを利用し分かりやすく出せたが、掲示物を作る時間が難しかった。 ・お便りや懇談会ではどういう意図でこのような活動を取り入れているのか？こんな力が伸びる期待していると書いた願いを示し保護者と共通認識が取れた ・バスやお預かりの子どもは何かあったか必ずノートに書き不安の内容に対応したが、日々のたわいもない会話が少ない気がする。 	<p>「親として子どもを理解する形は変化していきます。」</p> <p>赤ちゃんの時⇒親がすべてを見ることができ理解しやすい時期 集団生活始まり⇒お子さんの話を聞き担任の話を聞き、親がイメージして子どもの成長などを理解する時 小学校・中学校⇒毎日担任と話す事はありません。お子さんの話と1週間に一度のお手紙が頼りとなります。 高校以上⇒お子さんが何を考えているのか？会話できない日もやってきます。</p> <p>どうぞ担任と沢山話せるこの時にお子さんの感じていることや考え方、癖や家との違いなどを担任に相談していただきお子さんを理解するための情報を集めてくださいね。</p> <p>写真やおたより・お迎え時の担任との会話からお子さんの一日の動きを感じていただけると幸いです。お子さんの話と担任の話、園ではお便りや写真からイメージしていただけるよう努力しています。</p> <p>・お子さんが、今どんな感じなのか？不安を感じた時は連絡ノートを活用してください。個別の面談等も行いますので、気軽に声を掛けください。</p>	3
		<p>幼稚園は、クラスや子どもの様子や保育のポイントなどを日々会話やクラスだより、電話、ホームページ等で分かりやすく知らせていると思いますか。</p>	保護者	3.8	<ul style="list-style-type: none"> ・写真の販売やクラスだよりから普段の様子が分かり安心します。又、帰宅時、担任の先生以外からも様子を聞くことができ、どの時間でも丁寧に保育していただけてありがたい。 ・何かあった時は連絡帳や直接話して下さり常に安心感がありました。こちらの相談にもすぐ対応していただいてありがたいです。 ・毎週のクラスだよりやドキュメンテーション等保育の様子を知ることができとても嬉しいです。先生方の負担・激務に繋がらない様無理せず発信してください。 <p>・限られた情報しかないのももう少し園の日々の遊びやルーティン等が知れたらうれしい。保育の様子をいつでも見ることのできる参観の形が嬉しい。何をしてきたのか謎!!の時もあるので…。心配。</p> <p>・懇談会の際にまとめていろいろな話を聞かせていただきますが、日々の登下校の際にも園での様子や心配事などを お伝えしていただきたいと思います。</p>		<p>コミュニケーションが多様化しますが、先生方の健康を考えると電子機器の使用は注意が必要と心配です。</p>

9	子育ての支援	未就園児への園開放や預かり保育などを通して子育ての支援をする。	教師	3.1	<ul style="list-style-type: none"> • 毎日の連絡帳で子どもの姿を共有する中で、一緒に悩んだり話したりすることができた。 • 昨年度の学校評価にコロナ5類になったことで1号さんの預かりを申し込まれた際、積極的に受け入れるよう努力した。 • お預かり保育では少人数で落ち着いて遊べるものを用意した。 • 家庭環境が複雑な家庭が多かったため、そのつど保護者の要望に耳を傾け一緒に考えて家庭支援をしてきた。 • 在園児と未就園児さんの交流があってもいいと思う。話したいが話せなかった 	<p>ぜひ交流していけるようにしましょう。</p> <p>ひまわりクラブの日にちを増やしました。利用していただけると幸いです。</p> <p>・参観と行事は、子どもの成長を共感していただく保護者と繋がる大切な絆と考えています。園として参観の意図を絞り、年間計画を作成する努力をしています。保護者の皆さまにもご理解いただけると幸いです。</p> <p>・大町幼稚園では楽しく過ごして大きくなってほしいと考えます。ワクワクする伝え方？心を傷つけないようにするアドバイスは誰にも必要なものです。一緒にお子さんの成長を楽しんでいけたらと考えています。</p>	4	この一年、孫の成長を見守る思いでチャブレンとしてのお仕事をしてまいりました。2年目の2024年度も子育て世代の保護者と見守る教職員のために、できる限りの努力をしたいと思います。
			保護者	3.6	<ul style="list-style-type: none"> • 月々の集金の小銭を集めるのが大変だったので、口座引き落としになってよかった。 • 園庭開放が少ない気がした。 • ひまわりクラブ以外にも長い夏休みに登園できる機会が何日かあればよいと思います。(1号のお子さん) • 預かりが可能であっても、イベントが多くは働きながらの参加は大変と感じます。 • 保護者全体に療育のネガティブのイメージをなくすためにも事前に説明があると良いな。(療育はその子に必要で当たり前のことなんだということを・・・) 			
10	幼稚園運営	日々の保育記録・教材準備・連絡帳の記入・環境整備・事務などの効率化を図る。	教師	3.2	<ul style="list-style-type: none"> • 保育者の書き物が多く感じる。ICT化も取り入れ負担が軽くなればと思う。 • 子どもと向き合う為の大切な業務のため効率化することの難しさを感じるとともに、保育者間で子どもの姿を共有するための効率化の必要を感じた。 • 二人担任だったため、分担して行えた。又、共有しながら深めていった。 • 連絡帳の記入、手紙の入れ間違い等の内容再度確認する必要がある。 • 副担と連携が取れていたことで仕事を分割することができた。又、卒園式では職員室にボランティアボックスを作り先生方にも協力してもらい、早めに準備できた 		3	2024年度は理事と評議員としても尽くしてまいります。
			教師	3.3	<ul style="list-style-type: none"> • 感染症により思うように行事を行えない所もあったが、臨機応変に対応できた。 • 早め早めの計画を心掛け実践してきた • 長年年間計画は安定していたが、子どもたちが無理なく楽しめる一年になるよう調整を心掛けている。 			

